

平成29年第3回6月定例会

平成29年第3回6月定例会は、6月5日に開会し、会期22日間をもって6月26日に閉会しました。

この間、市長提出の議案40件及び報告7件を審議し、定例会最終日の6月26日には、議案などの採決を行いました。

6月定例会では、6月12日から6月14日までの3日間、議員19名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、2ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

伊藤 新 平議員

1 (一般質問)
幼児教育について

幼児教育の充実に

向けた方策は？

問 市内保育所や幼稚園における教育環境の現状と義務教育への円滑な移行について、どのように考えているのか。

答 本市では、幼児教育の充実を重要な政策と捉え、家庭、地域、保育所、幼稚園などの連携による質の高い幼児期の教育・保育を総合的に提供し、地域の子どもの地域で育てる子育て支援体制の確立や子育て支援サービスの充実を図るとともに、良質な適切な幼児教育が行えるよう、入所希望に応じた保育士の確保に取り組んでいる。また、学びの連続性を重視



小学生と保育所の子どもたちによるプール交流(小松小学校)

し、心身の調和のとれた発達や人間性の基礎を培う教育を推進するため、幼・保、小、中の連携を図る学校等連携教育推進事業を実施し、学校生活を円滑にスタートさせることで、一人一人をより大切にしたい教育が展開されており、成果も上がっている。今後、より質の高い子育て支援サービスが提供できるように検討していきたい。

西坂 壽 議員

1 (一般質問)
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会の運営について
2 社会福祉法人について

目前に控えたえひめ国体・えひめ大会の準備状況は？

問 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会の開催を目前に控える中、競技に参加する選手や監督だけでなく、市民みんなで感動や夢、希望を分かち合える大会を目指し、さまざまな準備がなされていると思うが、準備の状況はどうか。

答 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会の開催に伴い、本市を訪れる選手や役員、応援者の数は、選手・チーム関係者約1千700人、競技役員約800人、一般観覧者延べ2万3千人程度を想定しており、円滑な大会運営を図るため、西条市実施本部を設置し、窓口業務などに支障が生じないよう配慮しながら、職員全体の6割程度が運営に従事することとしている。

また、運営ボランティアとして77名のかたに登録いただいております。受付や案内、休憩所でのおもてなしなどに従事していただくため、研修会や



大会運営ボランティアの活動の様子(山岳競技リハーサル大会)

実地研修を通し、スキルアップに取り組んでいただいている。

更に、市内小・中学校における学校観戦のほか、市内の幼稚園や保育所にも参加を呼び掛けており、大会を盛り上げてもらいたいと考えている。その他、宿泊関係、輸送交通及び衛生面などについても万全を期すべく取り組んでいくところであり、リハーサル大会における経験を生かしながら、本大会の成功に向け円滑な運営体制を構築していきたい。